

記載例

様式4-2

全従業員の延べ従事時間に対する障がい者の年平均従事時間割合目標

39 %

【本件店舗における基本シフト計画】

月	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
従業員A					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									8
従業員B（障）					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○															5
火	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
従業員A					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									8
従業員B（障）					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○															5
水	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
定休日																															
木	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
従業員A					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									8
従業員B（障）					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○															5
金	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
従業員A					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○									8
従業員B（障）					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○															5
土	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
従業員A					○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											7
従業員B（障）					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○															5
日	8:00		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00		20:00		21:00		22:00		従事時間（h）
定休日																															

(A) 全従業員の延べ従事時間（h）

64

(B) 障がい者の延べ従事時間（h）

25

- ※ 1 表の欄が足りない場合は、欄や表を自由に増やして差し支えありません。ただし用紙は「A 3 ヨコ」とします。
- ※ 2 障がい者の就労時間要件（障がい者の延べ従事時間は、本件店舗における全従業員の延べ従事時間の 3 0 % 以上であること。）は、本表に基づき評価します。
- ※ 3 全従業員の延べ従事時間に対する障がい者の年平均従事時間割合目標は、1 週間分を基準とし、下記の計算方法により算出してください。
- （1 週間における障がい者の延べ従事時間） ÷ （1 週間における全従業員の延べ従事時間） × 100 = 【小数点以下四捨五入】

(B)

(A)